

## 令和5年度 シラバス

教科	国語	科目	現代文B	学年 学科 類型	3年 普通科 I型
単位数	3	教科書	精選現代文B (東京書籍)		
副教材等	精選現代文B 学習課題ノート (東京書籍)				

学習の目標	1 近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語力の向上を図り人生を豊かにする態度を育てます。 2 論理的思考力や想像力を身に付け、自分の意見を的確に表現する力を養います。
学習の方法	・授業に集中して取り組み、本文を要約したり、自分の考えを書いたり発表したりする活動に積極的に参加しましょう。また、ノートの整理などもきちんとしておきましょう。 ・学習課題集の問題を解いたり、漢字や語句の意味を調べたりして、語彙力を高めましょう。

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価				
			①	②	③	④	⑤
1 学期 中間	評論1 文学の未来 言語と記号	・評論を読み、その構成・展開・要旨などを、文脈に即して的確に読み取ります。 ・抽象的な事柄を論じた評論を読み、自分の考えを深めます。 ・発問への応答、ノート、定期考査	○	—	—	◎	○
	小説1 檸檬	・小説における場面の描写を表現に即して捉え、登場人物の心情を理解します。 ・心象風景を描いた小説の読み取りを通じて、洞察力を養います。 ・感想文、ノート、定期考査	○	—	—	◎	○
1 学期 末	評論2 環境問題と孤立した個人	・近代を論じた評論を読み、現代の社会における自分の生き方について考えます。現代社会における環境問題の改善について、話し合い活動を通して、自分の考えを深めます。 ・パフォーマンス評価、発問への応答、ノート、定期考査	○	—	◎	—	○
	随想 クレールという女	・随想を読み、そこに描かれた内容を表現に即して的確に読み取ります。筆者の人生観を反映した「人間のしるし」の意味の捉え直しについて、複数の視点から考えを深めます。 ・ノート、定期考査	○	—	—	◎	○
2 学期 中間	評論3 社会の崩れる時—知性的であるとはどういうことか—	・叙述の仕方に注意して論の展開の特徴をつかみ、筆者の考えを理解します。筆者の主張を、過去のこととしてではなく、現在の社会と接続しながら把握します。 ・発問への応答、ノート、定期考査	○	—	◎	○	○
	小説2 舞姫	・文語文で書かれた小説を読み、そこに描かれた内容を理解して味わいます。「良友」「一点の彼を憎むころ」について、話し合い活動を通して複数の視点から、考えを深めます。 ・パフォーマンス評価、発問への応答、ノート、定期考査	○	—	◎	○	○
2 学期 末	評論4 他者の声 実在の声	・筆者の述べる考察を論理的に理解し、物事の捉え方の幅を広げます。筆者が「他者性の問題」「実在性の問題」について、どのように考えているかを理解し、筆者の主張の要点を文章にまとめます。 ・要点のまとめ、発問への応答、ノート、定期考査	○	◎	—	—	○
	小説3 トランジエツト	・現代小説を読み、場面や登場人物の設定と話の展開を的確に捉えます。祖父の左腕に書かれた数字について、幼い「わたし」の理解と、後で知った事実との違いを推します。「深い暗闇」が暗示するものを考えます。 ・感想文、ノート、定期考査	○	—	◎	○	○
学 年 末	評論5 抗争する人間	・社会構造を分析する評論を読み、その内容を的確に把握します。筆者が考える「虚栄心」について、理解します。 ・筆者の主張を踏まえ、他者とどのような関係を築いていくことが望ましいかについての話し合い活動を通して、自分の考えを深めます。 ・パフォーマンス評価、ノート	○	◎	—	—	○

(備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。学年末考査は行わない。  
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

### 評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 関心・意欲・態度	行動の観察、課題プリント	10
② 話す・聞く能力	行動の観察、口頭発表、プレゼンテーション	10
③ 書く能力	レポート(感想文)、課題プリント、定期考査	30
④ 読む能力	ノート、定期考査	20
⑤ 知識・理解	課題プリント、ノート、定期考査	30

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60~80%程度とする。

## 令和5年度 シラバス

教科	国語	科目	古典B	学年 学科 類型	3年 普通科 I型
単位数	3	教科書	高等学校 改訂版 古典B (第一学習社)		
副教材等	高等学校 改訂版 古典B 学習課題集 (第一学習社)				

学習の目標	1 古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てます。 2 古典に親しむことで言語感覚を豊かにし、文化を理解する力を養います。
学習の方法	・予習では、ノートに本文を写し、古語辞典や文法書を用いて、文法や口語訳などを記入しておきます。また、音読をしましょう。 ・授業中は、口語訳や文法の確認を中心に行います。しっかり聞いて、予習の段階で分からなかったところを確認しましょう。 ・復習では、学習課題集を解いて、学習した内容を定着させましょう。

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価				
			①	②	③	④	⑤
1 学期 中間	古文 説話 発心集・今物語	・筆者が主張している内容について整理します。 ・「心を仏道に任せ」た生き方について考えます。 ・登場人物の心情を、表現に即して考えます。 ・行動の観察、ノート、小テスト、定期考査	○	—	—	◎	○
	漢文 逸話 説苑・列子	・登場人物の心情を理解します。 ・漢文に頻出する語彙や句法を確認し、現代語訳します。 ・行動の観察、ノート、小テスト、定期考査	○	—	—	◎	○
1 学期 末	古文 随筆 枕草子	・本文中に現れた作者の心情や考え方を理解します。 ・文中の助動詞の意味・用法について理解します。 ・行動の観察、ノート、小テスト、定期考査	○	—	—	◎	○
	漢文 古代の史話 戦国策	・春秋・戦国時代と政治論、軍事論の関係を理解します。 ・内容を読解し、論理展開を理解します。 ・行動の観察、ノート、レポート、小テスト、定期考査	○	—	—	◎	○
2 学期 中間	古文 物語(一)・日記 源氏物語・和泉式部日記	・登場人物の関係を、敬語の使われ方から理解します。 ・文中の助詞・助動詞の意味・用法について理解します。 ・主人公の生き方を通じて人の世のあり方や運命に抗う姿を味読し、物語文学を深く理解します。 ・行動の観察、ノート、小テスト、定期考査	○	—	—	◎	○
	漢文 史記の群像	・句法や頻出の語彙に注意しながら現代語訳します。 ・登場人物の人物について考察します。 ・行動の観察、ノート、小テスト、定期考査	○	—	—	◎	○
2 学期 末	古文 評論(一) 俊頼髓脳・無名草子	・歌論や和歌の技巧についての基本的な知識を確認します。 ・公任の和歌の評価基準を考えます。 ・一文の長い文体を読み味わい、読解力を身に付けます。 ・行動の観察、ノート、小テスト、定期考査	○	—	—	◎	○
	漢文 明代の文章	・句法に注意しながら書き下し文・現代語訳を整理します。 ・人物関係を整理し、それぞれの性格を読み取ります。 ・行動の観察、ノート、小テスト、レポート、定期考査	○	—	—	◎	○
学 年 末	古文 物語(二)・近世 の小説 大鏡・雨月物語	・語り手の人物を評価する視点や判断基準がどのようなところにあるかを考えます。 ・本文全体を通して、人間の自然の心の動きを読み取ります。 ・本文中の敬語について理解します。 ・行動の観察、ノート、小テスト	○	—	—	◎	○
	漢文 三国志の世界	・登場人物の関係性と、心情を理解します。 ・発言の意図や、詩の内容を読み取ります。 ・行動の観察、ノート、小テスト	○	—	—	◎	○

(備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。学年末考査は行わない。  
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

### 評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 関心・意欲・態度	行動の観察、課題プリント、発表、プレゼンテーション	20
② 話す・聞く能力	行動の観察、発表	—
③ 書く能力	課題プリント、定期考査	—
④ 読む能力	課題プリント、レポート、定期考査	40
⑤ 知識・理解	ノート、小テスト、定期考査	40

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60～80%程度とする。

## 令和5年度 シラバス

教科	地理歴史	科目	世界史B	学年 学科 類型	3年 普通科 I型
単位数	4	教科書	詳説 世界史 改訂版（山川出版）		
副教材等	歴史風景館 世界史のミュージアム（東京法令出版）、世界史重要語句CheckList2022（啓隆社）				

学習の目標	1 世界の歴史の大きな枠組みと展開を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けて理解します。 2 文化の多様性・複合性と現代社会の特質を広い視野から考察することによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養います。
学習の方法	・近現代の単元をより複雑な国際関係の中で学ぶので、事前課題についてしっかりと取り組んだ上で授業に集中し、家庭では学習したその日のうちに内容を確認するようにしましょう。 ・資料集を活用して、新しく出てきた地名の位置を確認しておくように心掛けましょう。

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	第8章 近世ヨーロッパ世界の形成	・ルネサンスや宗教改革を踏まえ、世界の一体化に至る過程や主権国家体制形成の経緯を考察します。 ・パフォーマンス評価、定期考査	○	○	◎	○
	第9章 近世ヨーロッパ世界の展開	・17世紀半ばから18世紀後半のヨーロッパにおける各国の近代化の在り方について、君主像を中心に考察します。 ・学習プリント、定期考査	○	◎	—	○
1 学期 末	第10章 近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立	・フランス革命、アメリカ諸国の独立など、近代社会の成長過程について理解します。 ・学習プリント、定期考査	○	○	—	◎
	第11章 欧米における近代国民国家の発展	・18世紀後半から19世紀までのヨーロッパ・アメリカの経済的、政治的変革を扱い、国民国家の形成について学習します。 ・学習プリント、白地図作業、定期考査	○	◎	—	○
2 学期 中間	第12章 アジア諸地域の動揺	・オスマン、ムガル、清帝国などアジア諸国の動揺と改革を扱い、アジアの中での日本の位置付けについて考察します。 ・学習プリント、課題プリント、定期考査	○	○	○	◎
	第13章 帝国主義とアジアの民族運動	・帝国主義諸国の抗争とアジア・アフリカの対応について学び、20世紀前半の世界の動向と社会の特質について学びます。 ・学習プリント、白地図作業、定期考査	○	◎	○	○
2 学期 末	第14章 二つの世界大戦	・二つの世界大戦、世界恐慌と資本主義の変容などについて理解し、国際協力の気運の高まりと後退について考察します。 ・学習プリント、課題プリント、定期考査	○	○	—	◎
	第15章 冷戦と第三世界の独立	・第二次世界大戦後から1960年代までの世界の動向を扱い、平和共存の模索について考察します。 ・学習プリント、定期考査	○	○	—	◎
	第16章 現在の世界	・1970年代以降の世界と日本の動向及び社会の特質について理解します。 ・学習プリント、定期考査	○	◎	○	○
3 学期	主題学習	・地球世界の課題に関する主題を設定し、資料を活用して歴史的観点から探究します。 ・パフォーマンス評価	◎	○	○	○
	問題演習	・問題演習を行い、問題の傾向に慣れるようにします。 ・学習プリント、小テスト	○	○	○	◎

- (備考) 1 1,2学期の定期考査は、中間・期末に行う。学年末考査は行わない。  
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

### 評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 関心・意欲・態度	行動の観察、発表、学習プリント、白地図作業	20
② 思考・判断・表現	行動の観察、発表、定期考査	20
③ 資料活用 of 技能	発表、パフォーマンス評価、定期考査	20
④ 知識・理解	課題プリント、小テスト、定期考査	40

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60~80%程度とする。

## 令和5年度 シラバス

教科	地理歴史	科目	日本史B	学年 学科 類型	3年 普通科 I型
単位数	4	教科書	詳説 日本史 改訂版 (山川出版)		
副教材等	最新日本史図表 四訂版 (第一学習社)、日本史重要語句CheckList2022 (啓隆社)				

学習の目標	日本の歴史の展開を、地理的条件や世界の歴史と関連付けて考察させ、広い視野に立って理解し日本の伝統と文化の特色について認識を深めます。また、歴史的思考力を培い、日本人としての自覚と国際社会に主体的に生きる資質を養います。
学習の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書を基本教材としつつ、資料が豊富な副教材も適宜活用します。</li> <li>・定期的に内容確認の小テストを実施し、学習内容の定着を図ります。</li> <li>・意欲・関心を持って主体的に学習に取り組み、復習を怠らないようにしましょう。</li> </ul>

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	第8章 幕藩体制の動揺	<ul style="list-style-type: none"> <li>・欧米諸国のアジアへの進出、幕藩体制の変容と近代化の基盤の形成について学習します。</li> <li>・学習プリント、小テスト、定期考査</li> </ul>	○	◎	○	○
	第IV部 近代・現代 第9章 近代国家の成立	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開国と幕府の滅亡、文明開化など欧米の文化・思想の影響や自由民権運動と立憲体制の成立について学習します。</li> <li>・学習プリント、小テスト、定期考査</li> </ul>	◎	○	○	○
1 学期 末	第9章 近代国家の成立	<ul style="list-style-type: none"> <li>・条約改正、日清・日露戦争とその前後のアジア及び欧米諸国との関係に着目し、立憲国家としての発展について考えます。</li> <li>・学習プリント、小テスト、定期考査</li> </ul>	○	○	○	◎
	第10章 二つの世界大戦とアジア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際社会の中の日本の立場に着目し、第一次世界大戦前後の対外政策や国内の経済・社会に及ぼした影響を考えます。</li> <li>・学習プリント、小テスト、定期考査</li> </ul>	○	◎	○	○
2 学期 中間	第10章 二つの世界大戦とアジア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際社会の動向、国内政治と経済の動揺、アジア諸国との関係に着目し、日本の動向と第二次世界大戦について学びます。</li> <li>・学習プリント、小テスト、定期考査</li> </ul>	◎	○	○	○
	第11章 占領下の日本	<ul style="list-style-type: none"> <li>・占領政策と諸改革、新憲法の成立など、我が国の再出発及びその後の政治や対外関係の推移について考えます。</li> <li>・学習プリント、小テスト、定期考査</li> </ul>	○	◎	○	○
2 学期 末	第12章 高度成長の時代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・戦後の経済復興、高度経済成長と科学技術の発達など、日本経済の発展と国民生活の変化について学習します。</li> <li>・学習プリント、小テスト、定期考査</li> </ul>	○	○	◎	○
	第13章 激動する世界と日本	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経済の国際化、生活意識や価値観の変化などに着目して、日本経済の発展と国民生活の変化について学習します。</li> <li>・学習プリント、小テスト、定期考査</li> </ul>	○	○	○	◎
3 学期	問題演習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題演習を行い、問題の傾向に慣れるようにします。</li> <li>・学習プリント、小テスト</li> </ul>	○	○	○	◎

- (備考) 1 1,2学期の定期考査は、中間・期末に行う。学年末考査は行わない。  
2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

### 評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 関心・意欲・態度	授業態度、発表、学習プリント	20
② 思考・判断・表現	行動の観察、発表、定期考査	20
③ 資料活用 of 技能	発表、定期考査	10
④ 知識・理解	課題プリント、小テスト、定期考査	50

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60～80%程度とする。

## 令和5年度 シラバス

教科	地理歴史	科目	地理B	学年 学科 類型	3年 普通科 I型
単位数	4	教科書	新詳地理B（帝国書院）、新詳高等地図（帝国書院）		
副教材等	新詳地理資料 COMPLETE 2022（帝国書院）、地理ワークブック2022（愛媛県高教研地理歴史・公民部会地理部門）、地理統計要覧2023年版（二宮書店）				

学習の目標	世界各地の特徴を理解するために、自然的項目と社会・文化的項目の両面から追究する地誌的方法を用いて学習します。また、現代世界の抱える課題を地球的規模で正しく認識し、その解決の糸口を考えていきます。
学習の方法	地図帳や作業地図・白地図などを活用して、自然環境や資源、産業など様々な地理的事象を空間的な広がりの中で捉えていきましょう。自分の知識や体験を通して、普段から様々な問題に興味・関心を持ち、解決しようとする前向きな姿勢を大切にしましょう。

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	3章 人口、村落・都市 1節 世界の人口 2節 人口問題 3節 村落と都市 4節 都市・居住問題	・世界の人口、人口問題、村落と都市、都市・居住問題を大観して、発展途上国、先進国、日本の事例で考察し、問題の解決に必要なものは何かを考えます。 ・学習プリント、作業プリント、定期考査	◎	○	○	—
	4章 生活文化、民族・宗教 1節 生活文化 2節 民族と宗教 3節 現代世界の国家 4節 民族・領土問題	・衣食住、民族と言語、世界の宗教、国境と領域、国家の分類、現代世界の民族・領土問題を大観し、日本の民族や領土、世界各地の民族の共生についての課題を考えます。 ・学習プリント、作業プリント、定期考査	○	◎	○	○
1 学期 末	第Ⅲ部 現代世界の地誌的考察 1章 現代世界の地域区分 2章 現代世界の諸地域 1節 地誌の考察方法	・特色ある事象と他の事象を有機的に関連付けて考察したり、対照的又は類似的な性格の2つの地域を比較して考察したりする方法を身に付けます。 ・学習プリント、作業プリント、定期考査	○	○	○	◎
	2節 東アジア 3節 東南アジア 4節 南アジア 5節 西アジアと中央アジア	・アジアの自然、農業、工業、文化・民族などの多様な事象を項目ごとに整理して、地域的特徴を考えます。 ・学習プリント、作業プリント、定期考査	○	◎	○	—
2 学期 中間	6節 北アフリカとサハラ以南のアフリカ 7節 ヨーロッパ 8節 ロシア	・アフリカ、ヨーロッパ、ロシアの自然、農業、工業、文化・民族などの多様な事象を項目ごとに整理して、地域的特徴を考えます。 ・学習プリント、作業プリント、定期考査	○	◎	○	—
	9節 アングロアメリカ 10節 ラテンアメリカ 11節 オセアニア	・南・北アメリカ、オセアニアの自然、農業、工業、文化・民族などの多様な事象を項目ごとに整理して、地域的特徴を考えます。 ・学習プリント、作業プリント、定期考査	○	◎	○	—
2 学期 末	3章 現代世界と日本	・日本の特色について、多面的・多角的に考え、日本が抱える地理的な諸課題を探究し、その解決の方向性や将来の国土の在り方などについて考えを深めます。 ・学習プリント、作業プリント、定期考査	◎	○	○	—
	問題演習	・問題を繰り返し解きます。 ・学習プリント、小テスト	○	◎	○	○
3 学期	問題演習	・問題を繰り返し解きます。 ・学習プリント、小テスト	○	◎	○	○

(備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。学年末考査は行わない。  
2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

### 評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 関心・意欲・態度	授業態度、発表、学習プリント、作業プリント	20
② 思考・判断・表現	行動の観察、発表、定期考査	20
③ 資料活用 of 技能	発表、定期考査	10
④ 知識・理解	課題プリント、小テスト、定期考査	50

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60～80%程度とする。

## 令和5年度 シラバス

教科	公民	科目	政治経済	学年 学科 類型	3年 普通科 I型
単位数	3	教科書	改訂版 政治・経済 (数研出版)		
副教材等	政治・経済資料 2023 (東京法令出版)				

学習の目標	1 現代の日本の政治・経済及び国際関係について関心を高め、政治・経済に関する基本的な知識や見方・考え方を身に付けます。 2 政治や経済、国際関係などに関する諸課題を主体的に考察し、公正な判断力を養い、良識ある公民としての態度を育みます。
学習の方法	・教科書を基本教材としつつ、資料豊富な副教材も活用します。 ・授業で学んだ範囲をその日のうちに復習し、理解しながら学習を進めましょう。 ・定期的に内容確認の小テストを実施し、学習内容の定着を図ります。

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	第1編 現代の政治 第1章 民主政治の基本原理と日本国憲法 第1節 民主政治の基本原理	・民主政治の基本原理を学び、民主政治の本質を理解します。 ・学習プリント、定期考査	○	○	—	◎
	第2節 日本国憲法と基本的人権	・日本国憲法における基本的人権の尊重、国民主権、政治機構について学習し、民主主義の本質を理解します。 ・学習プリント、定期考査	○	○	—	◎
1 学期 末	第3節 日本の政治機構 第4節 政治参加と民主政治の課題	・日本の政治機構について学習し、現代日本の政治について理解を深めるとともに、主権者としての政治参加の在り方を考察します。 ・学習プリント、小テスト、定期考査	○	◎	—	○
	第2章 現代の国際政治 第1節 国際政治の動向 第2節 国際社会の課題と日本の役割	・国際社会の変遷や国際法、国際機構について学習し、国際政治の特質について理解し、国際平和のための日本の役割を考察します。 ・学習プリント、小テスト、定期考査	○	◎	—	○
2 学期 中間	第2編 現代の政治 第1章 現代政治の仕組みと特質 第1節 経済活動の意義と経済体制	・資本主義経済と社会主義経済の発展と変容、経済体制について学び、現代の日本経済及び世界経済について理解します。 ・学習プリント、定期考査	○	○	—	◎
	第2節 現代経済のしくみ 第3節 日本経済と福祉の向上	・国民経済における市場経済の機能や限界、財政や金融機関の役割などについて理解し、経済社会の在り方について考察します。 ・戦後の日本経済を学び、中小企業や農業、労使関係、少子高齢社会についての課題を考察します。 ・学習プリント、小テスト、定期考査	○	○	—	◎
2 学期 末	第2章 国民経済と国際経済 第1節 国際経済の動向 第2節 国際経済の課題と国際協力	・貿易の意義や為替相場、国際収支のしくみについて理解し、国際協調の必要性や国際経済における日本の役割を考察します。 ・学習プリント、小テスト、定期考査	○	◎	—	○
	第3編 現代社会の諸課題 第1節 現代日本の諸課題 第2節 国際社会の諸課題	・政治や経済などの基本的な理解を踏まえ、少子高齢化や地域社会、産業構造の変化など現代日本の諸課題について考察します。 ・環境問題や資源エネルギー問題、国際経済格差など地球規模の課題に対する日本の役割について、政治と経済を関連させて考察します。 ・学習プリント	○	◎	○	—
3 学期	問題演習	・問題演習を行い、問題の傾向に慣れるようにします。 ・学習プリント、小テスト	○	○	○	◎

- (備考) 1 1,2学期の定期考査は、中間・期末に行う。学年末考査は行わない。  
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

### 評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 関心・意欲・態度	授業態度、発表、学習プリント	20
② 思考・判断・表現	行動の観察、発表、定期考査	20
③ 資料活用 of 技能	発表、定期考査	10
④ 知識・理解	課題プリント、小テスト、定期考査	50

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60~80%程度とする。

## 令和5年度 シラバス

教科	数 学	科 目	数学Ⅱ・数学探究Ⅰ	学年 学科 類型	3年 普通科Ⅰ型
単位数	5	教科書	改訂版 高等学校 数学Ⅱ(数研出版)、改訂版 高等学校 数学B(数研出版)、学校作成教科書		
副教材等	改訂版 キートレーニング数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B 受験編(数研出版)				

学習の目標	各自の進路希望を踏まえ、高等学校における数学の学習内容を統合的に復習し、基礎学力の定着を図ります。その上で、様々な問題に取り組むことで、大学入試に対応できる力を身に付けます。
学習の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書と並行して、問題集「キートレーニング」で演習を行います。予習・復習を徹底するとともに、疑問点の解消に向けて努力して下さい。</li> <li>・学習課題は必ず行い、提出物は期限までに必ず提出して下さい。</li> </ul>

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	数学Ⅱ演習 (三角関数、指数関数・対数関数、微分法・積分法)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数学Ⅱの内容の復習をします。</li> <li>・課題プリント、小テスト、定期考査</li> </ul>	○	○	◎	○
	数学B演習 (ベクトル)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数学Bの復習をします。</li> <li>・課題プリント、小テスト、定期考査</li> </ul>	○	○	◎	○
	数学A演習 (場合の数と確率)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数学Aの内容の復習をします。</li> <li>・課題プリント、小テスト、定期考査</li> </ul>	○	○	◎	○
1 学期 末	数学B演習 (数列)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数学Ⅱの復習をします。</li> <li>・課題プリント、小テスト、定期考査</li> </ul>	○	○	◎	○
	数学Ⅱ演習 (図形と方程式)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数学Ⅱの復習をします。</li> <li>・課題プリント、小テスト、定期考査</li> </ul>	○	○	◎	○
	数学Ⅰ演習 (数と式、2次関数、図形と計量、データの分析)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数学Ⅰの内容の復習をします。</li> <li>・課題プリント、小テスト、定期考査</li> </ul>	○	○	○	◎
2 学期 中間	数学A演習 (図形の性質、整数の性質)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数学Aの内容の復習をします。</li> <li>・課題プリント、小テスト、定期考査</li> </ul>	○	○	○	◎
	数学Ⅱ演習 (複素数と方程式)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数学Ⅱの内容の復習をします。</li> <li>・課題プリント、小テスト、定期考査</li> </ul>	○	◎	○	○
	総合問題演習①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各分野の融合的な演習問題を行います。</li> <li>・課題プリント、小テスト、定期考査</li> </ul>	-	○	○	◎
2 学期 末	総合演習問題②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各分野の融合的な演習問題を行います。</li> <li>・課題プリント、小テスト、定期考査</li> </ul>	-	○	○	◎
	共通テスト対策演習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共通テストに向けて実践的な演習を行います。</li> <li>・課題プリント、小テスト、定期考査</li> </ul>	-	○	◎	○
3 学期	共通テスト対策演習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共通テストに向けて実践的な演習を行います。</li> <li>・課題プリント、定期考査</li> </ul>	-	○	◎	○
	国公立2次対策演習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学別個別入試に対応した演習を行います。</li> <li>・課題プリント</li> </ul>	-	○	◎	○
	家庭学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主的、自発的な演習問題を行います。</li> <li>・課題プリント</li> </ul>				

(備考) 1 1,2学期の定期考査は、中間・期末に行う。学年末考査は行わない。  
2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

### 評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 関心・意欲・態度	取組状況観察、振り返り、発表、課題プリント	10
② 数学的な見方や考え方	取組状況観察、発表、小テスト、定期考査	30
③ 数学的な技能	板書の整理状況、小テスト、定期考査	20
④ 知識・理解	定期考査、小テスト、課題プリント	40

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60～80%程度とする。

## 令和5年度 シラバス

教科	理科	科目	生物探究	学年 学科 類型	3年 普通科 I型
単位数	2	教科書			
副教材等	・理科学習資料「探究」（高教研理科部会） ・生物基礎実験ノート・問題集（高教研理科部会生物部門） ・セミナー生物基礎（第一学習社）				

学習の目標	1 実験・実習や科学史研究を通して、「生物基礎」の内容を深く探究します。 2 探究をする過程について学び、科学的な方法を習得します。
学習の方法	・各単元で学ぶ内容の本質を理解できるように、資料集を大切にしてください。 ・学んだ内容の定着を図るため、問題集を繰り返し解いてください。 ・授業や探究活動を通して、「生命とは何か」などの問いに、自分で考えを深めて答えを追究してください。

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	1 生物の特徴 (1) 細胞 (2) 呼吸と光合成 (3) 探究活動	・細胞の特徴を理解するために探究活動を通じて分子レベルの学習をします。 【探究活動】 原核細胞の観察 【探究活動】 1日の消費エネルギーの算出 ・観察・実験の観察、発表（パフォーマンス評価）、実験ノート、行動の観察、課題プリント、定期考査	○	○	○	◎
1 学期 末	2 遺伝子とそのはたらき (1) DNAの構造 (2) 遺伝情報の複製と分配 (3) 遺伝情報の発現 (4) 探究活動	・遺伝子とそのはたらきを理解するために探究活動を通じてDNAについての学習をします。 【探究活動】 DNA分子模型の制作 ・観察・実験の観察、発表（パフォーマンス評価）、実験ノート、行動の観察、課題プリント、定期考査	○	○	○	◎
2 学期 中間	3 ヒトの体内環境の維持のしくみ (1) 神経系と内分泌系による調節 (2) 免疫 (3) 探究活動	・恒常性や免疫について探究活動を通じて医学的な側面から理解を深めます。 【探究活動】 白血球の食作用 ・観察・実験の観察、発表（パフォーマンス評価）、実験ノート、行動の観察、課題プリント、定期考査	○	○	○	◎
2 学期 末	4 生物の多様性と生態系 (1) 植生と遷移 (2) 植生の分布とバイオーム (3) 生態系と生物多様性 (4) 環境E S D (5) 探究活動	・持続可能な社会づくりに向けて、野外観察を通じて地域の生物多様性について理解を深めます。 【探究活動】 里山の生物多様性 ・観察・実験の観察、発表（パフォーマンス評価）、実験ノート、行動の観察、課題プリント、定期考査	○	○	○	◎
3 学期	9 総合演習	・これまで学習した内容について、プリントを用いて、総復習に取り組みます。 ・課題プリント	○	○	-	◎

- (備考) 1 1,2学期の定期考査は、中間・期末に行う。  
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

### 評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 関心・意欲・態度	行動の観察、課題プリント	20
② 思考・判断・表現	発表（パフォーマンス評価）、定期考査	20
③ 観察・実験の技能	観察・実験の観察、実験ノート	20
④ 知識・理解	実験ノート、課題プリント（ポートフォリオ評価）、定期考査	40

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60～80%程度とする。



## 令和5年度 シラバス

教科	理科	科目	地学探究	学年 学科 類型	3年 普通科 I型
単位数	3	教科書	地学基礎 改訂版 (啓林館)		
副教材等	地学学習帳 (愛媛県高等学校教育研究会理科部会) ・ ニューステージ地学図表 (浜島書店) ・ センサー地学基礎改訂版 (啓林館)				

学習の目標	1 「地学基礎」の内容を深く学習します。 2 班活動を行い、説明し合いながら知識を深めます。
学習の方法	・授業では「地学基礎」での学習内容の重要ポイントをまとめます。確実に理解しておきましょう。 ・家庭学習では実習や演習の内容を復習することに重点を置いてください。教科書や副教材を熟読し、理解を深めてください。

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	1 固体地球とその変動 (1) 地球 (2) 活動する地球	<ul style="list-style-type: none"> <li>固体地球について、観測・計測データから理解します。</li> <li>行動の観察、観察・実験の観察、ポートフォリオ評価、定期考査</li> </ul>	○	○	○	◎
	2 移り変わる地球 (1) 地球史の読み方 (2) 地球と生命の進化	<ul style="list-style-type: none"> <li>地上での環境の変化や生物の進化を地層に残された証拠や化石から推察し、先史時代の歴史を理解します。</li> <li>行動の観察、観察・実験の観察、課題プリント、定期考査</li> </ul>	○	○	◎	○
2 学期 中間	3 大気と海洋 (1) 大気の特徴 (2) 太陽放射と大気・海水の運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>天気図や日々の天気現象を原因と結果を理解しながら深めます。</li> <li>行動の観察、観察・実験の観察、ポートフォリオ評価、定期考査</li> </ul>	○	○	○	◎
	(3) 日本で見られる季節の気象	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本における季節ごとの天気図の移り変わりを、原因と結果を理解しながら深めます。</li> <li>行動の観察、観察・実験の観察、課題プリント、定期考査</li> </ul>	○	○	◎	○
	4 宇宙の構成 (1) 太陽系と太陽 (2) 恒星としての太陽の進化 (3) 銀河系と宇宙	<ul style="list-style-type: none"> <li>恒星について理解し、太陽を恒星の一つと考えて学習します。</li> <li>星の集合である銀河、とりわけ太陽系の属する銀河系について、理解を深め、銀河の存在する宇宙について体系的に学習します。</li> <li>課題プリント、定期考査</li> </ul>	○	○	○	◎
	5 自然との共生 地球環境と人類の関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>今まで習ったことを実生活と関連づけて学びます。</li> <li>日本で起こりうる災害に対して、被害を最小限に抑え、生き延びるためにどうすべきかを考えていきます。</li> <li>課題プリント、定期考査</li> </ul>	○	○	-	◎
2 学期 期末	総合演習	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習した内容の復習に取り組みます。</li> <li>課題プリント、定期考査</li> </ul>	○	○	-	◎
3 学期	総合演習	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習した内容の復習に取り組みます。</li> <li>課題プリント</li> </ul>	○	○	-	◎

(備考) 1 1,2学期の定期考査は、中間・期末に行う。学年末考査は行わない。  
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

### 評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 関心・意欲・態度	行動の観察、課題プリント	10
② 思考・判断・表現	ポートフォリオ評価、定期考査	25
③ 観察・実験の技能	観察・実験の観察、実験ノート、定期考査	25
④ 知識・理解	課題プリント、定期考査	40

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60～80%程度とする。

## 令和5年度 シラバス

教科	保健体育	科目	体育	学年 学科 類型	3年 普通科 I型
単位数	3	教科書	現代高等保健体育 改訂版 (大修館)		
副教材等					

学習の目標	1 各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにします。 2 明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養い、健康・安全・運動についての課題を主体的に解決する意欲や能力を育てます。
学習の方法	・体づくり運動、球技・武道(選択)、ダンス・陸上競技(選択)を通して、自分で課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てます。 ・体育理論では、豊かなスポーツライフの設計の仕方について学びます。

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	
1 学 期	体づくり運動	・体ほぐし運動を通して体を動かすことの楽しさや心地よさを味わい、心と体が互いに影響し変化することに学びます。 ・行動の観察	○	○	◎	
	選択 1 (球技【ソフトボール・バレーボール・テニス】・武道)	・球技では、多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方などを理解します。仲間と連携しゲームを展開し、生涯にわたって運動を豊かに継続するための意欲を育みます。 ・武道では、相手を尊重するとともに、礼法などの伝統的な行動を大切にし、得意技を用いた攻防が展開できるようにします。 ・パフォーマンス評価、実技	◎	○	○	
	体育理論	・豊かなスポーツライフの設計の仕方について理解します。 ・豊かなスポーツライフの設計の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることを目指します。 ・発表、小テスト	◎	○	○	
2 学 期	体づくり運動	・体力を高める運動を行います。その際、自己のねらいに応じて、健康の保持増進や調和の取れた体力の向上を図るための継続的な運動の計画を立てて取り組むようにします。 ・行動の観察	○	○	◎	
	ダンス	・宇和島東高校で受け継がれている動きを表現します。テーマにふさわしいイメージを捉え、個や群で対極の動きや空間の使い方に変化をつけて即興的に表現することで、イメージを具現化した作品にします。 ・行動の観察、発表	◎	○	○	
	選択(球技【バスケットボール・サッカー・テニス】・武道)	・球技では、多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方などを理解します。仲間と連携しゲームを展開し、生涯にわたって運動を豊かに継続するための意欲を育みます。 ・武道では、相手を尊重するとともに、礼法などの伝統的な行動を大切にし、得意技を用いた攻防が展開できるようにします。 ・パフォーマンス評価、実技	◎	○	○	
	体育理論	・豊かなスポーツライフの設計の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることを目指します。 ・豊かなスポーツライフの設計の仕方について学習を主体的に取り組むようにします。 ・行動の観察、小テスト	○	◎	○	
3 学 期	選択(球技【バスケットボール・サッカー・テニス】・武道)	・球技では、多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方などを理解します。仲間と連携しゲームを展開し、生涯にわたって運動を豊かに継続するための意欲を育みます。 ・武道では、相手を尊重するとともに、礼法などの伝統的な行動を大切にし、得意技を用いた攻防が展開できるようにします。 ・パフォーマンス評価、実技	◎	○	○	

### 評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 知識及び技能	行動の観察、パフォーマンステスト、実技	40
② 思考力、判断力、表現力等	行動の観察、各先生の評価プリント、発表、小テスト	30
③ 学びに向かう力、人間性等	行動の観察、各先生の評価プリント	30

## 令和5年度 シラバス

教科	芸術	科目	音楽Ⅱ	学年 学科 類型	3年 商業科 I型
単位数	2	教科書	MOUSA2 (教育芸術社)		
副教材等					

学習の目標	1 音楽を愛好し、音や音楽に対する興味・関心を高め、主体的に学習に取り組みます。 2 音楽のよさや美しさを理解し、自己のイメージを表現するための技能を身に付け、それを生かして個性豊かに表現します。 3 多様な音楽に対する視野や理解を深め、主体的に鑑賞します。
学習の方法	・歌唱では、音楽Ⅰより難易度の高い歌曲を歌います。授業での楽曲や演奏方法に関する説明をよく聞き、理解して演奏してください。 ・器楽では、コード進行を学習しながら創作活動にも生かせる旋律と伴奏の演奏を練習します。器楽で学習した鍵盤楽器を使ってテーマに合う作曲ができるよう、日常生活の中にある様々な音楽に興味を持ってください。

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	歌唱 ポピュラー・ソング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌詞の内容や楽曲の背景を理解し、イメージを持って歌います。</li> <li>・発音を学びながら諸外国の文化を理解し、表現を工夫して歌います。</li> <li>・練習への取り組み方、実技テスト</li> </ul>	○	◎	○	-
	歌唱 日本歌曲 イタリア歌曲	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌詞の内容や楽曲の背景を理解し、イメージを持って歌います。</li> <li>・発音を学びながら諸外国の文化を理解し、表現を工夫して歌います。</li> <li>・練習への取り組み方、実技テスト</li> </ul>	○	◎	○	-
1 学期 末	器楽 鍵盤楽器	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ピアノの基本的奏法を習得し、表現を工夫して演奏します。</li> <li>・練習への取り組み方、実技テスト</li> </ul>	○	○	◎	-
	鑑賞 ミュージカル	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽曲の文化的・歴史的背景を理解し、表現の特徴を理解して鑑賞します。</li> <li>・ワークシート</li> </ul>	○	-	-	◎
2 学期 中間	創作 音階から音楽を作ろう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌詞を考え、言葉の抑揚に合うメロディーを作ります。</li> <li>・自分のイメージに合う音階を選び、メロディーを作ります。</li> <li>・授業態度、ワークシート、実技テスト</li> </ul>	○	◎	○	-
2 学期 末	西洋音楽史・楽典	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な時代の音楽や作曲者の特徴と、文化的・歴史的背景との関わりについて学びます。</li> <li>・楽譜の書き方や、読み方について学びます。</li> <li>・ワークシート、小テスト</li> </ul>	○	-	◎	-
3 学期	器楽 ヴァイオリン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヴァイオリンを通して、西洋の文化的・歴史的背景や特徴を理解します。</li> <li>・ヴァイオリンの基本的奏法を習得し、表現を工夫して演奏します。</li> <li>・練習への取り組み方、実技テスト</li> </ul>	○	◎	○	-

(備考) ヴァイオリンは、音楽選択者全員で使用します。丁寧に扱い、授業後は整理整頓に努めてください。

### 評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 関心・意欲・態度	授業態度、練習への取り組み方、ワークシート	2.0
② 音楽表現の創意工夫	実技テスト、練習への取り組み方	3.0
③ 音楽表現の技能	実技テスト、小テスト、パフォーマンステスト	3.0
④ 鑑賞の能力	ワークシート	2.0

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60~80%程度とする。

## 令和5年度 シラバス

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	学年 学科 類型	3年 商業科 I型
単位数	2	教科書	美術2 (光村図書)		
副教材等					

学習の目標	1 1年次の学習内容に継続し、表現力や想像力を更に伸ばします。 2 これまでの知識、技術及び経験像を基に、主体的、個性的な表現を追求します。 3 鑑賞活動を通して、他人の考えを尊重し自分の考えを適切に表現します。
学習の方法	・すべての表現活動において、主にアクリル絵の具を使用します。 ・1年の学習を踏まえて、より高度な美術作品の制作や学習を行っていきます。

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	1 作家の生涯と作品	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アルヴァ・アアルトの生涯と作品を通して、建築への考え方やデザインの工夫を学びます。</li> <li>・線遠近法、透視図法で自分が理想とする部屋を設計し、形になる面白さを味わいます。</li> <li>・授業への取り組み、実技、作品、レポート</li> </ul>	○	○	◎	○
	2 アニメーションを作る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・方眼工作用紙で立方体を作り組み立てることで、ノマキューブの構造を理解します。</li> <li>・展開した後、最初に戻る構造から何度も繰り返される物語を考え、描きます。</li> <li>・授業への取り組み、行動の観察、作品</li> </ul>	◎	○	○	—
2 学期 中間	3 絵画表現 うつろう自然を描く(金屏風の制作)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金屏風の制作を通して、日本美術や日本の伝統文化についての理解を深めると共に、日本独特の絵画様式について学びます。</li> <li>・金屏風の構成の難しさや、立体的に絵を表現する面白さを味わいます。</li> <li>・国宝の屏風絵などの鑑賞を通して、日本美術の歴史を学びます。</li> <li>・授業への取り組み、実技、作品、レポート</li> </ul>	○	◎	○	○
	4 絵画表現 見えるものの向こうに(植物の細密画)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・植物の細密画を通して、身近にあるものを深く観察することで、対象が持つさまざまなかたちを探り、自然の造形の面白さを味わいます。</li> <li>・緻密な表現を通して写実表現の技法を学びます。</li> <li>・授業への取り組み、作品、レポート</li> </ul>	○	◎	○	○
3 学期	5 心の記録、想像の源(抽象表現)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・抽象表現作品制作を通して、具象作品との違いや鑑賞の仕方を学び、よさを味わいます。</li> <li>・偶然できた色や形から着想する描画法など、様々な技法を学びます。</li> <li>・授業への取り組み、作品、レポート</li> </ul>	○	○	◎	○
	6 そこから見えるもの(鑑賞)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な作品を鑑賞し、その作品から自分が見たもの、感じたことを発表し、他者との視点や捉え方の違いを知り、様々な角度から作品を鑑賞します。</li> <li>・授業への取り組み、発表、レポート</li> </ul>	○	—	—	◎

(備考) ・美術教室の道具類は美術選択者全員が使用します。丁寧に扱い、実習終了後の整理整頓を心掛けてください。

### 評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 美術への関心・意欲・態度	授業への取り組み、行動の観察	10
② 発想や構想の能力	行動の観察、作品	40
③ 創造的な技能	実技、作品	30
④ 鑑賞の能力	レポート、発表	20

(備考)

## 令和5年度 シラバス

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	学年 学科 類型	3年 商業科 I型
単位数	2	教科書	書Ⅱ (教育図書)		
副教材等					

学習の目標	1 様々な書体を勉強し、古典の美に触れ、感性を磨きます。 2 古典を臨書し、様々な書体を書くための技術を身に付けます。 3 日常生活に即した、整った字の書き方を学びます。
学習の方法	・古典の臨書を通して、観察力や技術を学び、集中力を養います。 ・書の歴史を学び、作品への理解を深めます。 ・古典で学習した内容を、創作活動に活用します。

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	1 楷 書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年次で学習したことの復習をします。</li> <li>・日本で独自に発展した書の文化を鑑賞しながら、臨書します。</li> <li>・臨書への取組、作品</li> </ul>	○	◎	—	○
	2 行 書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書Ⅰでの学習を基に、作品への理解をより深めていきます。</li> <li>・いろいろな古典作品を鑑賞しながら、臨書します。</li> <li>・臨書への取組、作品、感想文</li> </ul>	○	◎	○	○
2 学期 中間	3 草 書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・字の崩し方の原理を学習し、流動する用筆美を味わいます。</li> <li>・古典作品のそれぞれの特徴をとらえて、臨書します。</li> <li>・臨書への取組、作品</li> </ul>	○	◎	—	○
	4 隸 書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書体の特徴を理解し、字形や用筆法を学習します。</li> <li>・古典作品のそれぞれの特徴をとらえて、臨書します。</li> <li>・臨書への取組、作品</li> </ul>	○	◎	—	○
2 学期 末	5 篆 書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書体の特徴を理解し、字形や用筆法を学習します。</li> <li>・臨書への取組、作品、感想文</li> </ul>	○	◎	○	○
	6 仮 名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古典の特徴を捉えて、流動する仮名独特の用筆美を学びます。</li> <li>・臨書への取組、作品</li> </ul>	○	◎	—	○
3 学期	7 創作 (漢字)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今までに学習した臨書作品を基に、創作します。</li> <li>・応用力、作品、感想文</li> </ul>	○	-	◎	○

(備考) 書道の道具類は、丁寧に扱い、後片付けもしっかり行ってください。

### 評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合 (%)
① 書への関心・意欲・態度	学習活動の観察	20
② 書表現の構想と工夫	臨書への取組、作品	40
③ 創造的な書表現の技能	応用力、作品	30
④ 鑑賞の能力	感想文	10

(備考)

## 令和5年度 シラバス

教科	外国語	科目	コミュニケーション英語Ⅲ	学年 学科 類型	3年 普通科 I型
単位数	4	教科書	Revised ELEMENT English Communication III (啓林館)		
副教材等	Vision Quest 総合英語 Ultimate (啓林館)、ターゲット1900 (旺文社)				

学習の目標	1 2年次に身に付けた技能を発展させ、様々な話題について自分の意見や感想を英語で表現する力を身に付けます。 2 様々な話題の英文を読み、文の構造を把握するとともに、内容を的確に理解する能力を養います。 3 CEFRのB1以上の取得を目標とします。
学習の方法	・授業は、教科書の文章を読んでおくことが前提になります。教科書本文を段落構成に注意しながら読み、各段落の要点をつかんだ上で授業に臨みましょう。自分の力でやる習慣を継続しましょう。 ・英語を読んだり聞いたりしたときや自分の意見を表現するときに、分からないことがあれば、辞書や文法書を利用して、自分で調べ、力をつけていきましょう。

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	Lesson 1 Lies, Dammed Lies, and Statistics	<ul style="list-style-type: none"> <li>データの見え方の違いから統計がどのように嘘をつくかについて学びます。</li> <li>なぜ誤解を生むような統計データが使用されるのか、またそれをどのように見抜くかについて考えます。</li> <li>パフォーマンス評価、定期考査</li> </ul>	○	○	◎	○
	Lesson 2 Language Extinction	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界の言語を守るためにどのような取り組みが行われているかを学びます。</li> <li>日本で英語を話す人々が増えれば、日本語も消滅すると思うか考えます。</li> <li>エッセイ、定期考査</li> </ul>	○	○	◎	○
1 学期 末	Lesson 3 Environment or Orangutans?	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヤシ油の人氣がオランウータンに与えている影響を学びます。</li> <li>環境と経済のためにヤシの木を植えるべきだという意見に対する自分たちの考えを話し合います。</li> <li>パフォーマンス評価、定期考査</li> </ul>	○	◎	○	○
	Lesson 4 The Truth about Grit	<ul style="list-style-type: none"> <li>ニュートンが万有引力の概念を思いついた逸話の真実を学びます。</li> <li>気骨を鍛える方法について考えます。</li> <li>エッセイ、定期考査</li> </ul>	○	◎	○	○
2 学期 中間	Lesson 5 A Class from Stanford University	<ul style="list-style-type: none"> <li>筆者が授業で出した課題から得られる教訓について学びます。</li> <li>自分がこの授業を受ける生徒だったら何をするかについて話し合います。</li> <li>パフォーマンス評価、小テスト</li> </ul>	○	○	◎	○
	Lesson 6 The Mpemba Effect	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ムベンバ効果」をめぐる議論について理解します。</li> <li>子どものころに答えが見つからなかった問いについて話し合います。</li> <li>エッセイ、定期考査</li> </ul>	○	◎	○	○
2 学期 末	Lesson 7 Invisible Gorilla	<ul style="list-style-type: none"> <li>ゴリラ実験によって分かった人間の知覚をめぐる幻想について学びます。</li> <li>目立つものを見逃した経験について考えて、話し合います。</li> <li>パフォーマンス評価、定期考査</li> </ul>	○	◎	○	○
	Lesson 8 A Small Crime	<ul style="list-style-type: none"> <li>壁に落書きをした少年に父親が語ったことについて考えます。</li> <li>落書きは芸術か犯罪かについて自分の意見をまとめ、市長に電子メールを書きます。</li> <li>エッセイ、定期考査</li> </ul>	○	○	◎	○
3 学期	Lesson 9 Praying Hands	<ul style="list-style-type: none"> <li>デューラーの「祈りの手」秘話から、人間愛や家族について考えます。</li> <li>登場人物の気持ちを想像して手紙を書きます。</li> <li>エッセイ</li> </ul>	○	○	◎	○
	Lesson 10 All the Good Things	<ul style="list-style-type: none"> <li>筆者の人生を支えた学校時代の思い出を読みます。</li> <li>教師のひとりに感謝の手紙を書きます。</li> <li>エッセイ</li> </ul>	○	◎	○	○
	Pleasure Reading To You Who Will Live in the 21st Century	<ul style="list-style-type: none"> <li>司馬遼太郎が21世紀を生きる若者に語り継ぐ思いを読み、「いたわり」「他人の痛みを感じること」「優しさ」などについて考えます。</li> <li>パフォーマンス評価</li> </ul>	○	◎	○	○

- (備考) 1 1,2学期の定期考査は、中間・期末に行う。学年末考査は行わない。  
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

### 評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① コミュニケーションへの関心・意欲・態度	行動の観察、発表、パフォーマンス評価	30
② 外国語表現の能力	エッセイ、パフォーマンス評価、小テスト、定期考査	30
③ 外国語理解の能力	エッセイ、小テスト、定期考査	20
④ 言語や文化についての知識・理解	パフォーマンス評価、定期考査	20

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60~80%程度とする。

## 令和5年度 シラバス

教科	外国語	科目	英語表現Ⅱ	学年 学科 類型	3年 普通科 I型
単位数	2	教科書	Revised Vision Quest English ExpressionⅡ Ace (啓林館)		
副教材等	Vision Quest 総合英語 Ultimate (啓林館)				

学習の目標	1 英語で表現しようとする、コミュニケーションへの積極的な態度を身に付けます。 2 基本的な表現や構文・文法を習得し、英文の内容や相手の意図を正しく理解し、自分の考えを的確に表現できる英語力を身に付けます。 3 CEFRのB1以上の取得を目標とします。
学習の方法	・授業は、予習を前提に実施されます。教科書本文を段落構成に注意しながら読み、各段落の要点をつかんだ上で授業に臨みましょう。 ・英語を読んだり聞いたりしたときや自分の意見を表現するときに、辞書や文法書を活用して解決する姿勢を身に付けましょう。

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	Part3 Lesson1 Presentation	・プレゼンテーションを実施するに際して必要なことを学びます。 ・実際にプレゼンテーションに行き、質疑応答や評価にも挑戦してもらいます。 ・発表、エッセイ、小テスト、定期考査	○	◎	—	○
	Part3 Lesson2 Discussion	・ディスカッションを実施するに際して必要なことを学びます。 ・発表、エッセイ、小テスト、定期考査	○	◎	—	○
1 学期 末	Part3 Lesson3 Debate	・ディベートを実施するに際して必要なことを学びます。 ・様々な論題について肯定側、否定側の立場に立って考えを深めます。	○	◎	—	○
2 学期 中間	Part2 Lesson1文章を組み立てる① 文と文をつなぐ	・文と文のつながりを分かりやすくするための方法について学びます。 ・パラグラフの構成、列挙や時間的順序を表す表現を学びます。 ・発表、エッセイ、小テスト、定期考査	○	◎	—	○
	Part2 Lesson2文章を組み立てる② パラグラフ①-構成/列挙・順序	・例示や追加を表す表現を学びます。 ・比較、対照についての表現を学びます。 ・発表、エッセイ、小テスト、定期考査	○	◎	—	○
	Part2 Lesson3文章を組み立てる③ パラグラフ②-例示・追加 Part2 Lesson4文章を組み立てる④ パラグラフ③-比較・対照	・原因、理由、結果についての表現を学びます。 ・文章の要点、要約を書く手順について学びます。 ・発表、エッセイ、小テスト、定期考査	○	◎	—	○
2 学期 末	Part2 Lesson5文章を組み立てる⑤ パラグラフ④-原因・理由・結果 Part2 Lesson6文章を組み立てる⑥ 要点・要約①-リーディングの要約	・音声による英文を聞きながらメモを取るコツを学びます。 ・リスニングの要点、要約を書く手順について学びます。 ・発表、エッセイ、小テスト、定期考査	○	◎	—	○
	Part2 Lesson7文章を組み立てる⑥ 要点・要約②-リスニングの要約	・既習の文法を復習します。 ・課題プリント、小テスト、定期考査	○	◎	—	○
3 学期	3年生のまとめ	・既習の文法を復習します。 ・課題プリント、小テスト、定期考査	○	◎	—	○

- (備考) 1 1,2学期の定期考査は、中間・期末に行う。学年末考査は行わない。  
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

### 評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① コミュニケーションへの関心・意欲・態度	授業態度、言語活動、出席状況、小テスト、パフォーマンステスト	30
② 外国語表現の能力	授業における発表、エッセイ、定期考査、課題プリント、パフォーマンステスト	40
③ 外国語理解の能力		—
④ 言語や文化についての知識・理解	言語活動への参加状況、定期考査、小テスト	30

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60~80%程度とする。